

公表日

2026年2月20日

事業所名

こばんはうすさくら 土浦教室

保護者等数(児童数) 1名 回収数 1件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1件				子どもがのびのびと活動できる十分なスペースが確保されていると感じます。	今後も活動内容や子どもの特性に応じて、安全かつ落ち着いて過ごせる空間作りを心がけます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1件				子ども一人ひとりに目が行き届いており、適切に感じます。	基準を遵守し、子どもの状況や活動内容に応じた適切な職員配置に努めています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1件				活動スペースや静かな場所が分かれている、分かりやすい環境だと思います。掲示物も見やすくて安心できます。	今後も子どもの特性に応じた環境整備を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1件				清潔感もあり、整理整頓されていると感じます。子どもの活動に合わせた空間作りが工夫されていると思います。	引き続き、清掃、衛生管理を徹底すると共に活動内容や子どもの特性に応じた空間作りを心がけます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1件				子どもの特性や得意、苦手をよく理解した上で支援して頂いていると感じます。	今後も一人ひとりの特性を丁寧に把握し、専門性を活かした支援の充実に努めています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1件				支援プログラムと日々の支援内容が一致しており、子どもの成長につながると感じています。	活動内容やねらいなどより分かりやすく保護者へお伝えできるように工夫していきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	1件				子どもの特性や課題をよく理解した上で個別支援計画の作成がされていると思います。	アセスメント等から客観的視点に基づいた個別支援計画の作成に努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1件				本人支援が中心になり、本人の特性や気持ちを大切した支援がなされていると感じます。	本人支援中心に行ってますが、今後は家族・移行支援も視野にいれて必要な支援を具体的に設定していきたいです。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1件				個別支援計画に基づいて、日々の支援が行われていると感じます。	今後も個別支援計画を職員間で共有し、計画に沿った支援の実施に努めています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1件				運動、製作等バランスよく組み合わせて取り入れてくれていると思います。	新しい活動を取り入れる機会が少ないので、外部研修や他事業所の活動を参考にしています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1件				事業所内の活動が中心となっていると思います。	段階的に参加できる活動から取り入れ、子どもが安心して経験を積めるように支援していくよう努めます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1件				契約の際に運営規定や支援内容、利用者負担等説明があり、安心して利用を開始できました。	ご利用の前に書面を用いて確認しながら説明を行えるよう努めています。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1件				子どもの課題や目標について具体的に説明があり、安心して任せられる感じました。	保護者の理解を確認しながら説明し、質問や意見を伺う機会を設けています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1件				現在のところないが、今後情報共有の機会があれば興味があります。	個別相談の場などを活用し、段階的に家族支援につなげていくことを検討しています。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	1件				連絡帳や送迎時を通して、日々の様子や成長について共有ができます。	保護者の意見や家庭での様子を伺いながら共通理解のもとで支援を行うように心がけています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1件				子どもの様子を踏まえた具体的な助言があり、困り事について相談できています。	面談時に保護者の悩みや不安を丁寧に聞き取り、相談しやすい体制を整えています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1件				困りごとを伝えた際に、否定せずに共感的に受け止めてもらえて安心感があります。	職員は子どもや保護者の思いを丁寧に受け止め、共感的な関りを大切にした支援を行なうよう努めています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1件				子ども本人への支援が中心となっているので機会は特にないと思います。	現在は本人支援が中心となるが、保護者や家族全体への支援のあり方についても検討していきたいです。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1件				相談したい時に連絡しやすく、職員が迅速に対応してくれていると感じます。	連絡帳や日々の送迎時を通じて相談しやすい環境を作り、必要に応じて面談の機会も設けるように体制を整えています。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1件			連絡帳や口頭で日々の様子を丁寧に伝えています。	今後も伝達方法を工夫し、より分かりやすく丁寧な情報提供に努めています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1件			SNS等を通じて日々の活動内容や連絡体制についても分かりやすく発信していると感じます。	発信にあたっては個人情報の取り扱いに十分配慮することを心がけています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されているだと思いますか。	1件			個人情報の取り扱いについて十分な説明があり、安心して利用できています。	職員に対し個人情報保護に関する周知・研修を行い、意識向上に努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1件			事故防止や緊急時対応について説明があり、配慮されていると感じます。	各種マニュアルを整備・周知し、定期的に訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1件			日々の活動のなかで避難訓練などの取り組みがあり、安心しています。	災害時の発生に備えて火災・地震等を想定した避難訓練を定期的に行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1件			安全面への配慮が日々の支援に反映されていると感じます。	子どもの安全確保に関する計画を作成し、保護者へ周知した上で支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1件			些細な怪我でもすぐに連絡をいただき、状況や対応についても説明してもらえるので安心しています。	事故発生時には速やかに保護者へ電話等で連絡し、丁寧に説明するように心がけています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	1件			先生方と信頼関係を築き、安心感をもって過ごせています。	子ども一人ひとりの特性や気持ちに寄り添い、安心できる関りや環境作りを心がけています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	1件			慣れるまで不安もありましたが、今は楽しそうに通っています。	子どもの興味や発達段階に応じた活動を取り入れ、楽しいと感じられる経験を大切にしています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	1件			些細なことでも相談しやすく、丁寧に対応してもらえて満足しています。	保護者の意見や子どもの状況を把握し、個別支援計画に反映した支援を行っています。

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日		2026年2月20日	事業所名	こばんはうすさくら 土浦教室		
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3件		活動内容や子どもの特性に応じて、集団活動と個別活動を分けてスペースを活用しています。	活動内容によっては静と動のスペース分離が十分でないため、ソーニングの見直しを行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3件		利用人数や子どもの特性に応じて職員配置を調整しています。	突然の欠勤時に十分な人員確保が難しいことがあるため、応援体制や代替職員の確保を検討します。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3件		活動スペースや静養スペース等を明確に分けて、見通しを持って行動できるよう視覚的に分かりやすい情報提示を行っています。	視覚支援や掲示物について、より統一感のある分かりやすい表示方法を検討していきたいです。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3件		毎日の清掃等や、活動内容に応じて机の配置等を変えるなどの空間作りの工夫を行っています。	活動の切り替えが分かりやすくなるよう、視覚的な工夫を検討していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3件		集団活動が難しい際や気持ちの切り替えに必要な時は職員の見守りの元個別の部屋の使用ができるよう配慮しています。	個別スペースの使用基準やタイミングについて職員間で共通理解を深める必要があります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3件		日々の改善後や定期的なミーティングで職員が意見を出し合い、課題の共有、振り返りを行っています。	業務改善の検討が一部の職員に偏りがちになることがあるため、より多くの職員が参画できる体制を整えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2件	1件	アンケートや相談を通じて寄せられた意見を職員間で共有し、支援内容や運営の見直しに活かしています。	意見を反映した改善内容について、保護者へのフィードバックが十分でないため周知の仕方を検討します。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2件	1件	日々のミーティングなどで職員が意見や気づきを出しやすい環境作りを心がけています。	出された意見がどのように改善につながったかを職員全体で共有できる体制を整えていきたいです。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1件	2件	自己評価の実施や行政・関係機関からの助言を第三者の視点として受け止め、業務改善に活かしています。	第三者による体系的な外部評価の機会が十分でないため、今後は外部評価の活用方法について等検討したいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3件		外部研修や事業所内研修等の情報を共有し、参加を促しています。	研修で得た学びを職員全体で共有し、実践につなげる仕組みをさらに充実させていきたいです。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3件		活動内容やねらい等は保護者に分かりやすく伝えるよう心がけ、連絡帳を通して情報提供を行っています。	今後はホームページや掲示物等の活用も検討して支援内容がより伝わるようにしていきたいです。

	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3件		面談や日々のやり取りを通じて情報を更新し、個別支援計画に反映するように努めています。	アセスメント結果やニーズ等の整理方法について、職員間での共通理解をさらに深める必要があります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3件		職員間で話し合いの機会を設けて、支援の方向性や目標の一致に努めています。	最善の利益という視点をより意識できるよう研修等の機会を充実させたいです。
適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2件	1件	日々の支援の中で個別支援計画を意識し、計画に沿った支援が行えるように申し送り等を活用しています。	非常勤職員や新任職員にも確実に計画内容が伝わるよう更なる共有方法が必要です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3件		子どもの適応行動を客観的に把握し、日々の支援の中で共有することで確認しています。	アセスメントツールの活用方法や評価の視点について職員間で更なる共通理解を図る必要があります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3件		子どもの発達や保護者の意向に応じて本人支援を中心に設定されています。	職員間で計画内容の理解をさらに深めて、支援の質の均一化を図る必要があります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3件		職員それぞれの経験や専門性を活かして、チームとして支援の質の向上を目指したプログラム作成を行っています。	十分な話し合いかぎりでない場合があるので、今後は計画的に検討の場を設ける必要があります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3件		職員間で日々の振り返りを行う際に、新しい活動や支援方法を検討し、プログラムに反映しています。	時間的制約等により、十分に新しい活動ができない場合があるのでやり方を整える必要があります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3件		集団の中での経験を大切にしつつ、必要に応じて個別の関りを取り入れています。	集団・個別活動の目的やねらいを職員間で共有し、支援の統一を図っていきたいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3件		支援開始前にはミーティングを行って最終確認をし、より質の高い支援ができるよう努めています。	ミーティング際に決まった職員の意見に偏りがちなので、全員が意見を述べられるような環境を整備します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3件		支援終了後には終礼が行われ、その際に気づいた点などを共有できるようにしています。	業務の都合上、十分なミーティングができる場合があるので体制を整えていきたいです。
適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3件		記録は職員間で共有し、支援終了後の振り返りやミーティングで内容を確認しています。	記録内容にはらつきがあるため、視点や書き方を統一する必要があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3件		モニタリング結果を踏まえ、子どもの発達状況や環境に応じて見直しを行っています。	見直しの判断基準が職員間で統一されていない部分があるため、共通理解を図っていく必要があります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2件	1件	集団・個別活動を適切に組み合わせ、遊びや生活動作などを通じて総合的な発達を促す支援を実施しています。	4つの基本活動のねらいや位置づけについて、職員間での理解をより深める必要があります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3件		子どもの選択や意思表示を尊重し、自己決定する経験を積み重ねられるよう支援しています。	年齢や特性によっては十分な支援ができるない場合があるため、より丁寧な関りを心がけます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2件	1件	今後、会議等が開催される際には子どもをよく理解している者が参画できる体制を整えていきます。	関係機関との連携の機会を積極的に検討し、情報共有や支援の質向上につなげていきたいです。
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3件		かかりつけ医のやり取りはあるが、地域の教育機関等と直接の連携はないため必要に応じて体制を整えていきたいです。	関係機関との連携を想定した体制作りや職員間での役割分担を明確にしていきたいです。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3件		必要に応じて、保護者の意向を確認したうえで連絡などを行い、体制に反映しています。	学校との直接的な情報共有の場が限られたため、緊急時等支援上必要に応じて連絡体制を整えていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2件	1件	保護者を通じて園での様子や支援内容を確認し、相互理解を深めるように努めています。	今後は保護者の同意を得たうえで園との情報共有等連携の在り方について検討していきたいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2件	1件	個別支援計画や記録をもとに、保護者を通じて支援の経過等が引き継がれるように配慮しています。	移行の事例が限られているため、情報提供の方法や内容が十分に整理されていないで整えていきたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーpaiズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2件	1件	現在は設けていないが、今後必要に応じて相談や連携ができる体制作りを意識しています。	具体的な連携方法や相談の流れが整理されていないため、体制整備が必要です。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1件	2件	児童館へ遊びに行ったり、外出活動の際に地域の公園を利用するなど地域の子どもと関わる機会を設けています。	児童クラブや児童館との交流は計画的・継続的ではないので機会を検討していきたいです。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2件	1件	今後、参画の機会が得られた際には事業所として積極的に参加できる体制を整えています。	自立支援協議会の開催状況や参加方法など十分に把握できていないため情報収集が必要となります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3件		連絡帳や送迎時に子どもの日々の様子や支援内容について保護者と情報共有を行っています。	保護者との伝達方法や内容にはらつきがあるため、職員間での共有統一が課題になります。

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2件	1件	保護者から相談があった際は内容に応じて丁寧に対応し、家庭での関りに活かせる助言を行っています。	保護者のニーズを把握したうえで求められる内容の家族支援や情報提供ができるよう体制を作っていてください。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3件		契約時に重要事項説明書を用いて丁寧に説明しています。	初回説明だけでなく、定期的に質問を受けたり内容を振り返る機会を設けていきたいです。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3件		作成時には面談や日々のやり取りを通して、子どもや保護者の意向を確認する機会を設けています。	子ども本人の意思確認については、年齢や特性によって難しい場合があるので方法を検討する必要があります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3件		作成後は計画書を示しながら支援目標や支援内容について、保護者に分かりやすく説明しています。	保護者が十分に検討できる時間や質問しやすい環境作りについてより配慮が必要となります。
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3件		連絡帳や電話、面談を通じて隨時受けつけ、必要に応じて丁寧に対応しています。	家族が気軽に相談できることを改めて周知し、相談しやすい環境作りを進めていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1件	2件	現在は行っていないが、保護者から交流に関する希望などがあった際は内容を把握し、今後の参考にしていきたいです。	保護者・きょうだいの交流の重要性を踏まえ、実施の可能性を検討していく必要があります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3件		苦情や意見が寄せられた際には、内容を正確に把握し速やかに事実確認と対応を行なうように努めています。	苦情や意見を事業所の改善点につなげる視点をもち、業務改善に活かしていきます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3件		発信内容については個人情報の取り扱いに十分に配慮をして発信しています。	SNSを利用していい保護者に対して他に複数の情報伝達手段を検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3件		個人情報の取り扱いに関しては、関係法令や事業所の規定に基づき、適切に管理しています。	個人情報保護に関する職員研修を定期的に実施できるよう体制を強化していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3件		連絡帳や送迎時等を活用して丁寧に伝えると共に子どもは年齢や特性に応じて分かりやすい言葉や方法を心がけています。	重要な情報に関しては伝え漏れや認識の差がないように複数の手段で確認するなど徹底しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2件	1件	現在は行っていないが、地域行事や周辺環境の情報収集をして今後の参考にしたいです。	開かれた運営の視点を踏まえて、地域の方との交流の実施の可能性を検討します。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3件		各種マニュアルを整備し、保護者、職員間で周知をしています。	各種マニュアルを定期的に見直し、現状に即したものにしていく必要があります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3件		地震・火災を想定した訓練を実施し、子どもの安全最優先で手順確認を行っています。	BCPの内容について、定期的な見直しや職員間での周知をより徹底していく必要があります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3件		契約時、更新時に服薬状況や予防接種などの有無等を聞き取りを行っています。	状況の変化があった際の情報更新が遅れることがあるため、定期的な確認の仕組みを明確にする必要があります。
非常時等の対応	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3件		食物アレルギーの有無について保護者に確認をし、医師の指示書を提出してもらい、内容を確認しています。	医師の指示書の内容をより分かりやすく整理し、新任職員にも伝わる仕組みを作るように心がけます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3件		安全管理に関する研修を実施し、職員の理解と意識向上を図っています。	研修、訓練の内容や実施状況について、振り返りを充実させ、実際の支援に活かせるよう体制を整えます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3件		日々の連絡帳や面談を通して、安全確保に関する情報共有を行い、家族との連携を意識した支援に努めています。	安全計画の内容について、定期的に保護者への周知・再確認の機会を設ける必要があります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3件		日々の支援の中で発生したヒヤリハット事例を職員間で共有し、内容を記録しています。	再発防止策について、職員全体に確実にし、継続的な安全管理の向上を図っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3件		虐待防止に関する研修機会を設けて、子どもの権利擁護や不適切な対応について理解を深められるように努めています。	研修内容が形骸化しないよう、具体的な事例検討を取り入れるなど研修方法を更に整えていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3件		身体拘束を行った際に内容や経過について、記録し、振り返りを行うことで適切性の確認をして記載をしています。	身体拘束に至らない支援方法の検討を継続し、高速を最小限にする取り組みを強化していきます。